

## 寄附・寄贈

- 4/13 吉備の里うらじゃ祭り等推進委員会から吉備の里法人へ 充電式噴霧器 (1台)、レインコート (2着)
- 7/29 24時間テレビチャリティー委員会から吉備の里希望へ 空気清浄機
- 9/12 赤い羽根共同募金から吉備の里なでしこへ 車輻日産ノート



噴霧器 空気清浄機 Airdog 日産ノート



ありがとうございました

## 吉備の里20年勤続表彰



吉備の里希望 主幹 佐藤 憲司

大学を卒業し、吉備の里へ就職して早20年が経過しました。知的障害者の方への職業指導、生活支援を通じて、様々な方との出会いや別れを経験してきました。その経験を糧に、自身の成長につなげることができたと自負しております。ベテランの域に入り責任も重くなってくると思いますが、在職1年目、2年目のあのフレッシュな気持ちを忘れずに、引き続き精進して参ります。

## — 新人職員紹介 —



きたがわ まい 北川 茉依 (吉備の里総務課)

7月より総務課で勤務させていただいております。吉備高原に移住してきて四季の移り変わりの素敵さに癒されています。福祉の仕事が初めてで知らないことが多い中、職員の方々が時間を割いて丁寧に教えて下さり感謝の毎日です。優しく声をかけて下さる皆様、いつもありがとうございます。早く皆様のお力になれるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。



まつだ まさこ 松田まさ子 (吉備の里つばき寮)

看護師の松田です。私が日々を送る上で好きな言葉であり、モットーとしている言葉は「まあいいところで生きていきたい」です。人との出会いや日々の出来事の一つ一つを大切に、人生を送っていきたくと思っています。



ただだ めぐみ 武田 憲 (吉備の里チャレンジ)

以前こちらで栄養士として勤務させていただいておりました。ご縁をいただき10月から調理員としてお世話になっております。また、一から頑張りますので、どうぞよろしくお願いたします。

もり さなえ 森 早苗 (吉備の里地域生活ホーム世話人)

よしかわ まさゆき 吉川 雅之 (吉備の里地域生活ホーム世話人)

## ◆退職職員紹介

- 退職者氏名 平松 隆子 (吉備の里希望・つばき寮)
- 的 山 健二 (吉備の里チャレンジ)
- 小 神 桂子 (吉備の里地域生活ホーム)
- 植 木 直子 (吉備の里地域生活ホーム)

## 赤い羽根共同募金コラボグッズが完成しました!!

今年度も赤い羽根共同募金運動のため、吉備中央町共同募金委員会と吉備高原清和荘、吉備の里希望の3事業所でのコラボを企画しました。今回作成した「Waすれなクリップ®」は買い忘れ防止やダブリ解消に役立つグッズです。寄附金付きで500円で販売しています。清和荘さんから提供された絵をタグや表紙に加工し、包装などを行いました。



—お求め先—  
吉備中央町社会福祉協議会  
しらすぎ事業所/やすらぎ事業所/ふれあい荘

## TOPICS

### 利用者の方に聞いてみた!!

吉備の里創立40周年を迎えたなか、39年間吉備の里に在籍中の利用者の方に当時の思い出などを聞きました。

昭和58年(1983年)吉備の里入所 中村五木さん

吉備の里開設当時、何も無い土地で大きな石をダンプカーで運ばれていたことが印象に残っています。その頃と今の吉備の里を比べると、たくさんの事業所ができて様子も全く変わりました。

昔は、吉備松下株式会社(現パナソニック吉備株)で働いており、寮生活をしていました。今は吉備の里希望で作業を頑張っています。色々と心配してくれる職員さんもいて、サポートしてくれるので助かります。



当時の中村さん



開設当時

社会福祉法人 吉備の里 広報誌

# 吉備の里

vol.46



社会福祉法人 吉備の里

2022年11月1日発行

〒709-2344 岡山県加賀郡吉備中央町上野2320-10  
TEL.0866-56-8216 FAX.0866-56-8218  
https://www.kibinosato.or.jp  
E-mail: kibisato@kibinosato.or.jp  
発行責任者 古南 篤子

## 40年のあゆみ

**1982年3月**  
社会福祉法人 吉備の里設立

**1983年4月**  
岡山県立重度身体障害者授産所(現希望) 岡山県立知的障害者授産所(現なでしこ) 運営受託・事業開始

**1983年6月**  
第1回吉備の里 ふるさと祭り開催  
吉備の里ふるさと祭

**1987年4月**  
岡山県立吉備の里通動寮(現つばき寮)運営受託・事業開始

**1991年4月**  
法人初のグループホーム大井開設

**1991年4月**  
岡山県立吉備の里能力開発センター(現たんぼぼ)運営受託・事業開始

**1999年4月**  
身体障害者福祉ホーム「ウェスタ」開設

**2003年4月**  
岡山県立吉備の里就労センター(現ひなぎく)運営受託・事業開始

**2006年10月**  
吉備の里相談支援センター開設

**2009年4月**  
岡山県から法人へ施設移譲

**2009年4月**  
吉備の里チャレンジ開設(就労継続支援A型事業)

**2013年4月**  
吉備の里たんぼぼ(生活介護事業所)開設

**2020年3月**  
吉備の里なでしこ生活棟増設

# 40th

ありがとう

## 吉備の里はこれからも可能性への挑戦を続けます!

# Goal

## 防犯・安全対策研修会



8月25日、吉備中央町障害者等地域自立支援協議会主催による防犯・安全対策研修会が開催されました。新型コロナウイルスの影響により、3年ぶりの実施となりましたが、約30名の施設職員や関係者が見守る中、犯人役に扮した岡山北警察署員が迫真の演技で施設内へ侵入。対応した吉備の里職員は緊張感漂う中、犯人への声掛けを行いました。最後は数名の男性職員で取り押さえることができました。今回の訓練で学んだことを生かし、引き続き利用者が安心して利用できる施設づくりに努めていきます。

## “新理事長あいさつ”

吉備高原を吹き渡る秋風に、酷暑だった夏の記憶も薄れそうになるこの頃ですが、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

先般、7月1日付けで、社会福祉法人吉備の里の理事長に就任いたしました。「可能性への挑戦」を基本に、日々真摯な取組を続けてきた当法人は、今年創立40周年を迎えました。

この記念すべき節目に重責を担うこととなり、身の引き締まる思いです。新型コロナウイルス感染症、物価高、地球温暖化など、昨今、私たちを取り巻く社会情勢の変化は激しく、なかなか先が見通せない状況ですが、そんな中にあるけれども、関係者が情報を共有し、工夫しながら、「利用される方にとっての一番は何か」を常に考え、障害のある方が地域で安心して生活を営むことができるよう、適切で健全な事業運営に努めてまいります。

そして、吉備の里が、地域の皆さんに信頼され、愛される法人であり続けることを目指し、職員の方々とともに、努力していく所存でございます。

関係の皆様には、引き続き、ご指導・ご鞭撻をお願いいたしますとともに、変わらぬ温かいご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



吉備の里 理事長 古南 篤子

吉備の里  
希望

ハッピーハロウィン!



コロナ禍になってからの恒例行事、ハロウィンパーティを自治会主催で10月22日に開催しました。ミニゲームや仮装を楽しみ、たくさんの笑顔を見ることができました。これからは感染対策を行いながら、皆さんの笑顔のためにできることを実施していきます。梶谷福祉基金様から助成金を頂き、行事の経費に使用させて頂きました。ありがとうございました。

吉備の里  
たんぼぼ

アートギャラリー-in岡山桃太郎空港



岡山県障害福祉課主催の「障害のある人のアートギャラリー」が岡山桃太郎空港で開催されました。日々の創作活動の中で利用者の皆さんが一致団結し、合同作品や個性豊かな個々の作品を計4点展示させていただきました。8月25日に新型コロナ感染予防対策を行いながら、利用者の皆さんで展示されている作品の見学へ行きました。見学しているときに一般の方から「素晴らしい! 凄い!」との声も聞かれ、大きな励みとなりました。今後も個性豊かでキラリ輝く作品を生み出せるよう「チームたんぼぼ」で頑張っていきます!

吉備の里  
なでしこ

初の夏イベント



8月26日、自治会主催による初めての夏イベントを開催しました。新型コロナウイルス感染症により行動が制限され、行事が規制される中、楽しい思い出をつくるために自治会役員が中心となり企画しました。当日は、感染症や熱中症の対策を行い、手持ち花火や置き花火で盛り上がり、ラムネやアイスを食べ楽しみました。初めて花火をする利用者の方もおられ、とても良い思い出になりました。そして冬はクリスマス会を企画しており、夢が広がります。

吉備の里  
地域生活ホーム

地域の一員としての取り組み



7月3日に長坂ホームがある地域で清掃活動がありました。ホーム入居者の皆さんも地域の住民として参加し、支援者とともに草を刈ったり落ち葉の掃き掃除をしました。暑い中で大変でしたが、家族の会から頂いた冷却グッズで熱中症対策はばっちり★一緒に清掃した利用者さんは「町がきれいになって、今日参加して良かったです!」と清々しく話してくれました。今後も、地域活動を通して地域住民との協力を大切にしていき、気持ちの良い関係をつないでいきたいと思えます。

吉備の里  
ひなぎく

2022 ひなぎくの秋を満喫だ



コロナ禍ではありますが、感染対策を行ないながら10月8日に事業所内にてレクリエーションを開催しました。ひなぎくの秋をテーマに、創作活動にチャレンジしてみました。少しずつ完成に近づき、最後は大作ができあがり! ひなぎく全員の力を結集すれば、できる喜びと大きな形になるを感じとれたことは、これからのおしほり作業にも生かしていけると思えます。

吉備の里  
チャレンジ

みんなの手で美しく!!



チャレンジでは、給食提供サービス作業、外構清掃作業、室内清掃作業を行っています。今回は屋内清掃作業の紹介をします。この夏は猛暑でしたが、清掃・ワックスがけを頑張りました。床がピカピカになるとより明るくなり、綺麗になった空間で気持ち良く過ごしていただけるよう頑張っています。これから寒くなりますが、12月にもワックスをかけるのでみんなで協力して頑張らしましょう!!

吉備の里  
つばき寮

楽しく、おいしく、調理実習



つばき寮では定期的に調理実習を行っています。「調理はしたことがないのでできるかなあ…」と消極的な方も、一度調理実習に参加すると楽しく取り組んでいます。調理した食事は全員でおいしくいただき「今度は〇〇が食べたい!」とリクエストをいただくこともあります。次回の献立が楽しみです!

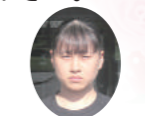
保育実習生さんが来られました!

ありがとうございました  
学校名 岡山短期大学  
幼児教育学科 2年生  
実習期間 令和4年8月17日~26日  
受入事業所 吉備の里なでしこ



おおおか こと  
大岡 虹斗さん

最初は利用者の方と仲良くなれるかと不安でしたが、利用者さんから話しかけてくれたおかげで、コミュニケーションがとれ、たくさん話すことができ、嬉しかったです。この10日間でもとても勉強になりました。私は短大での勉強を頑張ります。皆様も訓練頑張ってください。



ほりうち さくの  
堀内 咲乃さん

施設実習が始まるまで不安や心配の気持ちが強くて、実習が怖いなあと思っていました。でも実際に実習を行うと利用者の方がよく話しかけてくれたり、遊びに誘ってくれるなど、安心して頑張ることが出来ました。職員の方も優しく安心して取り組むことができました。施設実習で学んだことを、次の実習に生かしていこうと思います。これからもお体に気を付けて頑張ってください。